

きららいん2021までの道！

①制作



これまで作ったもの、これから作るもの
内容は自由です。
今回は額装は不要です。

②写真撮影



プロカメラマンでなくてもOK
スマホで気軽に撮っても大丈夫！
作品写真撮影のコツ（別紙参照）
写真は原則1作品について1枚とします。

③必要事項を送る



応募要項の7項目を確認して送ってください

- 例 ① きらら太郎（ペンネーム・きららッシュ☆You）
② きらら支援学校 ③ 男・17歳
④ 盛岡市◎◎町▽丁目■一★
⑤ 019-6◎◎-××◇◇
⑥ A.花咲くいわて B.絵画 C.たて150cm よこ100cm
D.1か月授業の合間にコツコツ描いていました。

④事務局から連絡



いただいた内容に不明な点があったら
折り返し連絡します。
差しさわりなければ、振込用紙を送ります。

⑤出展料入金



出展料は1点500円です。
事業所や学校での応募の際は、団体ごとでの入金をお願いします。

⑥事務局で確認後、サイトにアップ



入金を確認され次第、随時アップします。
きららいんサイトのURLは追ってご連絡します。

⑦記録集をお送りします。



皆さんの作品が掲載された記録集を作成します。
次回に向けてまた制作にはげんでください。

作品写真撮影のコツ！

1. 場所と光……明るい場所で撮影が基本!!

- ・ 作品に均一に自然光が当たる明るい場所が○

窓のそばで十分に光が入るが直射日光が当たらない場所、電気を点けなくても十分に明るい場所を探して撮影しましょう。

- ・ 作品に直射日光が当たる場所は△

作品に直射日光が当たる場合は作品本来の色を撮影しにくいのでレースカーテンなどで光を遮るなど、直射日光を当てないように撮影しましょう。

- ・ 暗くて作品の色が判別しにくい場所や白熱電球の下での撮影は×

電球の光の色が作品にかぶり、色が再現出来ないので注意が必要です。蛍光灯下も避けましょう。

拡散している光（自然光・太陽光）の方が均一に光が作品に当たるため、簡単にきれいな写真が撮影しやすい。

AM9:00~PM3:00 の間に撮影するのが良い。

2. カメラの使い方

デジタルカメラを前提としたカメラの使い方です。設定方法などはカメラの取扱説明書をご覧ください。

- ・ ストロボ（フラッシュ）やスマートフォンのライトは使わない

1箇所だけ明るくなってしまうため使用しない。

- ・ 日付が入らないように設定する
- ・ AUTO以外ではAモード、Pモードでの撮影が○

3. 構図と背景

☆平面作品の場合

- ・ 作品とカメラを水平にして撮影するのが○

壁の場合は真正面から、床やテーブルの上に作品がある場合は真上から撮影しましょう。

- ・ 作品が画角に入らない時は離れて撮影する。

大きい作品・沢山ある作品などは脚立などを使い、作品から離れて画角に入るように撮影しましょう。

- ・ 小さめの作品はスキャン！

コピー機や複合機、スキャナーなどがある場合、使用している機器が対応しているサイズであればスキャンするのがオススメです。

額に入った作品の場合はガラス板やアクリル板への光の反射や映り込みを避けるため、額から出して撮影をしてください。

☆立体作品の場合

背景に作品以外のモノがなるべく写り込まないように撮影しましょう。作品全体の様子が伝わるアングルを探して撮影しましょう。

- ・ 作品全体にピントが合うように撮影する

作品の一部にしかピントがあっていない状態ではなく、全体にピントが合うように撮影しましょう。